

【4】潮見地区福祉対策推進協議会の紹介

目的

福祉対策推進協議会（通称：福対協）は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めるという役割を担う組織です。

ここ潮見地区福対協は、昭和53年に設立され各団体のメンバーを中心に住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

構成員

民生委員児童委員、公民館、老人クラブ、婦人部、小・中学校長、PTA、警察署、消防署など、幅広い団体の代表で構成されています。

活動内容

友愛訪問、ふれあいネットワーク支援、福対協総会の開催、ひとり暮らしの高齢者への食事サービスの実施、学校行事への参加、通学合宿への協力など。

活動紹介

◎ふれあいネットワーク

ひとり暮らしの高齢者などが、地域で安心して暮らせるように、隣近所の方をはじめとした地域住民が中心となり、安否確認や話し相手などのために定期的に訪問しています。

◎食事サービスボランティア（若葉2組食事サービス）

若葉2組公民館では、20年程前から毎月第3水曜日に高齢者食事サービス会を続けています。婦人部有志の奉仕により安い予算で美味しい昼食を一緒に頂き、毎回お互いの元気な姿を確かめながら談笑の時を過ごしています。



◎潮見小学校といっしょに

・通学合宿への協力

山澄地区公民館を使って、潮見地区通学合宿を地元の支援者と共に実施しました。入所式から、子ども達は楽しそうに参加し、行動日程表に基づいて班をつくり、夕食の準備などをしました。洗い物や後片付けなどを家でしたことのない子が多く、いちばんつらそうだったのは、起床と朝食の準備のようでした。



・田植え、稲刈り体験学習交流

佐世保市立潮見小学校5年生児童22名と「総合的な学習」の一環として食育の米について、平成17年に続き18年も、6月5日に田植え体験、10月16日に稲刈り体験を、当地区民児協13名全員参加のもと共同作業で行いました。今回は、黒髪町猫山ダム横の棚田を利用させていただきました。



【5】地域福祉活動計画の概要

住みなれた地域で、これからも安心して暮らしたい！

これは誰もが願っていることです。

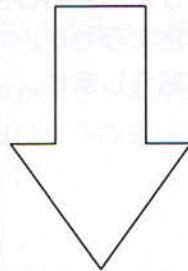


いま、地域では…

高齢者の見守り、子どもの安全、ごみ問題、町内会活動…など行政のサービスでは解決することが難しい、さまざまな問題があります。

むかしは…

「向こう三軒両隣」という近所の助け合いのなかで解決できていたかもしれません。



どうすれば解決できる？



「地域の中で問題となっていること・困っていること」などを、『地域みんなの問題』と考え、その解決について『地域みんな考え、取り組む』ことが必要です。



地域福祉の考え方

◎この地域福祉の考え方を進めていくきっかけとして、「地域福祉“お茶の間トーク”」を行い、皆さんの住んでいる地域のことについて話し合いました。

P9~P10に掲載しています。

◎話し合った内容をもとに、さらに住みよい「潮見」のまちをつくるために作成したのが、この潮見地区地域福祉活動計画

「しあわせを わちあう ふれあいのまち」

～みんなで つくろう わがまちプラン～ です。

これからも、みんなで協力して、安心して暮らせる地域をつくりましょう！

※この活動計画は、市内31地区でそれぞれ作成され、それをもとに、市全体の「地域福祉計画」が策定されます。